

介護報酬引き上げ訴え

札幌で初の決起大会

11月11日の「介護の日」に合わせ、全国介護事業者協議会（民介協）北海道支部は、介護報酬改定に向けた初の集会「異次元の介

護報酬引き上げ」を陳情する決起大会 in 北海道」を札幌市中央区の「かでる2・7」で開いた。全道の介護従事者ら420人が集まり、2024年度の改定に向けて処遇改善を訴えた。

（関連記事5面）

北海道老人保健施設協議

会など8団体の代表が登壇し「中堅人材の離職率は50%近く、他業種への流出が深刻」などと訴え、介護従事者の基本報酬引き上げや経営環境の改善を求めた。

大会後、実行委の対馬徳昭委員長は「人員不足や物価高で介護現場はかなり厳しい。力を合わせて国に働きかけないといけない」と強調した。（今関茉莉）



介護報酬改定に向けた初の決起大会で現状の厳しさを訴える対馬徳昭実行委員長（左端）